台風による洪水を対象とした避難情報発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）（R3年8月版）
結城市（鬼怒川）

※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく。

気象・水象情報

-72h
-48h
-24h
-12h
-5h
（-5h）
-4h
（-4h）
-2h
0h

◇台風予報
◇台風に関する栃木県、茨城県気象情報（随時）
○台風に関する気象庁記者会見
◇大雨注意報・洪水注意報発表
○台風に関する気象庁記者会見
◇大雨警報・洪水警報発表

水防団待機水位到達
川島水位観測所（水位0．00m）

氾濫注意水位到達
川島水位観測所（水位1．10m）

石井（右）水位観測所換算水位（水位1．50m）

避難判断水位到達
川島水位観測所（水位1．90m）

石井（右）水位観測所換算水位（水位2．60m）

◇大雨特別警報発表

氾濫危険水位到達
川島水位観測所（水位2．90m）

氾濫開始相当水位到達・越流

浸水発生

※ピーク到達　被害拡大

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

下館河川事務所

○施設（ダム・水門・排水機場等）の点検・操作確認
○災害対策用資機材・復旧資機材等の確保
○リエゾン体制の確認
○協力機関の体制確認
○ダム事前放流の指示・確認
○上流 佐貫下・石井観測所の水防警報

【注意体制】

水防警報（待機・準備）

○水門、樋門、排水機場等の操作
○応援体制の確認・要請（防災エキスパート等）

洪水予報（氾濫注意情報）　水防警報（出動）

○出水時点検（巡視）
○CCTVによる監視強化

※44.405k避難判断水位相当流量

【警戒体制】

洪水予報（氾濫警戒情報）

※44.405kはん濫危険水位相当流量

【非常体制】

洪水予報（氾濫危険情報）

洪水予報（氾濫発生情報）

緊急復旧、堤防調査委員会設置

○被害状況の把握
（ヘリコプター等による迅速な状況把握）
○TEC-FORCEの活動
○被害状況・調査結果等の公表

結城市

○水防団等への注意喚起

○体制の確認等
○防災安全課待機

第一次防災体制
○首長若しくは代理者の登庁　○水防団指示　○連絡要員の配置
○河川水位、雨量、降水短時間予報を確認
○樋管等の操作（中樋管，上山川樋管）　○避難所開設の準備

第二次防災体制　警戒レベル3 高齢者等避難

○水防警報（指示）
○災害対応職員の配置　○避難所開設
○必要に応じ、助言の要請　○要配慮者施設に洪水予報伝達
○ホットライン
○リエゾンの派遣
○巡視・水防活動状況報告
○避難が必要な状況が夜間・早朝の場合は、日中に高齢者等避難の発令判断

第三次防災体制　警戒レベル4 避難指示

○漏水・侵食情報提供
○10分ごとに河川水位、雨量、降水短時間予報を確認

第四次防災体制
○氾濫危険水位到達に関する情報の住民への周知
○大雨特別警報の住民への周知
○災害対策機械の派遣要請

○災害対策機械の派遣

第五次防災体制　警戒レベル5 緊急安全確保
○自衛隊への派遣要請
○避難者への支援

住民等

○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
○防災グッズの準備
○災害・避難カードの確認
○自宅保全

○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認
○防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

要配慮者避難開始

○避難の準備（要配慮者以外）

○防災無線、携帯メール等による避難指示・避難勧告の受信

避難開始

危険な場所からの避難完了

直ちに安全確保

避難解除